

イクビゴケ科

クマノゴケ

Diphyscium lorifolium (Cardot) Magombo

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

■ 県内分布

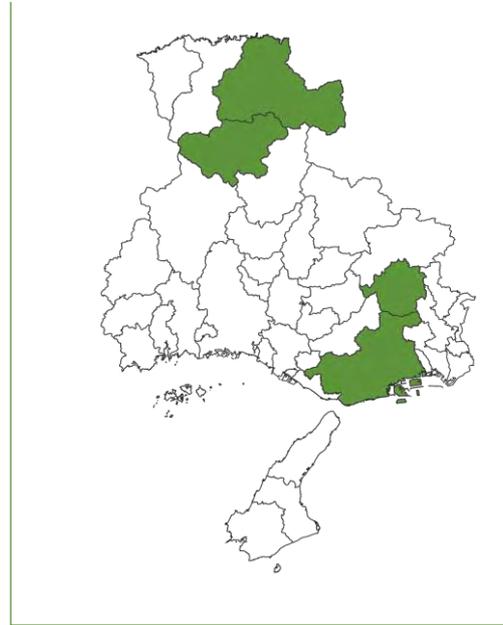
神戸市、三田市、豊岡市、養父市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	○ 分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

以前はクマノゴケ属としてイクビゴケ属から独立して扱われ、*Theriotia lorifolia* Card.という学名が用いられてきた。2020年版での新規掲載種。

■ 保護上の留意点

小渓流内の岩に水流に半ば浸って生育するため、水質ともに環境自体の保全が重要。

■ 種の概要

植物体は黒緑色でやや硬い。葉はひも状で長さ6-12mm、中肋が葉身の大部分を占める。茎は非常に短い。胞子体はややまれ。雌苞葉間に沈生し、非相称、長さ約5mm、口部は狭く折り畳まれたついで状の薄い膜質で、フイゴに良く似る。胞子はこの狭い口部を通して、勢い良く放出される。